

平成 30 年度(2018 年度)第 2 回三者懇談会（吹田市立西山田保育園）

- 1 開催日時 平成 30 年 9 月 29 日(土) 午後 7 時 5 分～午後 8 時 40 分
- 2 開催場所 西山田保育園 遊戯室
- 3 出席者 西山田保育園保護者会長、その他保護者 27 名
社会福祉法人耕心会（耕心会理事長、吹田くすのきこども園事務長、吹田くすのきこども園主事）
吹田市児童部保育幼稚園室職員（保育幼稚園室長、児童部総括参事、保育幼稚園室参事、保育幼稚園室主幹、西山田保育園長、西山田保育園長代理、西山田保育園保育士、西山田保育園看護師）
- 4 議 題 1 社会福祉法人耕心会の紹介
2 質疑応答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第 2 回三者懇談会を開会いたします。はじめに資料の確認をさせていただきます。

（資料の確認）

2 出席者紹介

吹田市： 三者懇談会の出席者の皆さまについて御紹介させていただきます。

（出席者紹介）

3 社会福祉法人耕心会の紹介

吹田市： 前回の三者懇談会終了後、耕心会に西山田保育園での保育の様子を映像で見ていただく機会がありました。今回の三者懇談会を開催するにあたって、耕心会から、今度は吹田くすのきこども園での保育の様子を見ていただきたいという申し出があり、保護者会長と協議をさせていただいた結果、三者懇談会で視聴していただくことになりました。上映時間は 15 分程度を予定しています。

なお、これから見ていただく映像は、あくまで吹田くすのきこども園での保育内容の紹介であり、この保育内容を移管後の西山田保育園で行うことではない点

について、御了解いただきたいと思います。

(映像の視聴)

4 質疑応答

吹田市： ご清聴ありがとうございました。まずは、事前にいただいた保護者の皆様からの御質問に回答いたします。

(吹田市から回答)

(耕心会から回答)

吹田市： 保護者の方からの御意見や御質問をお伺いしたいと思います。

保護者： 長く働いているパート・アルバイトの先生たちには、移管後も残ってほしいと思っていますが、西山田保育園では、最近アルバイトの先生の退職が続いています。民営化と何か関係があるのでしょうか。

西山田保育園長： 今年度はアルバイトの先生が変わることがあり、御心配をおかけしています。最近では待機児童対策によって多くの保育所等が開園しています。新たに開園した保育所等の正規職員に採用されるという理由で、西山田保育園を退職する方が何人かおりました。また、個人的な事情による退職もありました。民営化とは直接関係ありません。

耕心会： 耕心会としても、パート・アルバイトの先生が移管後も残っていただけたら、本当に安心できると考えています。藤白台保育園では、パート・アルバイト職員の方と何回も面接をさせていただいたり、吹田くすのきこども園に見学に来ていただくことで、どのような法人なのか見ていただいたりしています。

正規職員で働きたい等の個別の状況も聞かせていただきながら、移管後も継続勤務が可能となる条件を提示させていただこうと考えています。

保護者： 子供の定員に対して、配置基準を満たす数の保育士を確保できなかった場合に、市が行う補助や支援について教えてください。また、そのような場合には園児の

受入れ人数を減らすことになるのでしょうか。

吹田市： 園児の数に対して必要な保育士を確保できなかった場合というのは、これまでにそのような事例がないですし、保育士の数が足りているという前提で移管後の園を認可しますので、お答えしづらい質問になります。

職員配置について申し上げますと、園児の数に対する最低限の人数ではなく、ある程度余裕をもって保育士を配置するのが一般的です。ただ、様々な事情で保育士がお休みを取ったり退職されたりして、配置人数がぎりぎりになってくるような場合は、補助や支援ではなく必要な指導をしていくことになります。園児の受入れ人数を減らして対応することはありません。

保護者： 再来年4月の民営化に向けて、何名ほどの保育士を雇用する予定で、現在何名決まっているのか教えてください。

耕心会： まず、合同保育に関わる職員についてお話をさせていただきます。来年4月から参加する3名はすでに内定しています。再来年の1月から参加する担任予定者の保育士と看護師、栄養士については現在採用活動中です。

移管を行う再来年の4月から勤務してもらう保育士の採用数については、現在西山田保育園で働いているパート・アルバイトの方がどの程度残っていただけるかによりますが、7、8名程度は必要になると思っています。

耕心会は役員に保育士養成校の教授や講師がおりますので、その学生さんや卒業生に声をかけています。また、ハローワークで募集を行うだけでなく、保育士の就職フェアに参加して就職ガイダンスも行いながら、保育士経験のある方の採用も進めているところです。

保護者： パート・アルバイトの先生が残ってくれるかどうか分かるのはいつ頃ですか。

耕心会： 来年の12月頃を目標にしています。

保護者： 発達支援保育制度についてです。吹田市は、耕心会に対して、引続き受入れをお願いするようですが、他の私立園に対する対応を教えてください。

公立保育所では、発達支援制度を利用しているお子さんも受入れて丁寧な保育

をしています。耕心会ではどのように対応しているのか聞かせてください。

また、保健センターや杉の子学園以外に民間の療育施設と連携されているとのことですが、具体的な施設名と、どのようなアドバイスをもらっているのか教えてください。

吹田市： 発達支援保育制度とは、保護者が就労されていないお子さんが保育所を利用する場合、保護者が就労されているお子さんが保育所を利用する場合は、要配慮保育と呼んで区別しています。今の西山田保育園では、発達支援保育制度のお子さんだけでなく、要配慮保育のお子さんもお預かりして一緒に異年齢交流保育を行いながら発達保障を行っています。

吹田市としては、私立園に対して発達支援保育制度の枠を設けていただきたいというお願いを行っている状況です。

耕心会： 吹田くすのきこども園でも要配慮保育のお子さんを、毎年数名お預かりしており、通常のクラス担任に加えて、要配慮保育のお子さんを担当する先生が入って保育を行っています。基本的にはそのお子さんが集団生活に入っていけるようサポートしながら、個別に1対1で対応する時間も設けています。

連携している療育施設については、通っているお子さんのプライバシーの問題もあるので控えさせてください。アドバイスの内容については、保育所等訪問支援事業所の先生に来てもらい、要配慮のお子さんに対してどのような保育を行っていくか、クラス担任や関係する保育士を交えて相談させてもらっています。また、地域の訪問看護ステーションとも連携を行い、理学療法士やセラピストの方にお子さんの様子を時々見ていただいたりしています。

保護者： 吹田くすのきこども園における看護師の役割や、配置状況について教えてください。

耕心会： 吹田くすのきこども園では看護師を専任で配置しています。園全体の健康管理はもちろん、個別のクラスのお子さんの健康管理や、予防接種状況のチェックも行っています。園の医務室で、発熱したお子さんの様子を見ながらお迎えを待つこともあります。

保護者： 耕心会は、吹田くすのきこども園と藤白台保育園、西山田保育園の計3園になりますが、看護師の配置をどのように行う予定ですか。保育所の看護師は多くの保育士の中で少数職種です。公立であれば多くの園があるので異動もありますし、看護師同士で話をする事で横の繋がりもできて、長く働き続けることができると思います。そういったことも考慮してほしいと思います。

耕心会： 看護師は各園に1名ずつ配置しますので、合計3名です。看護師とお話をする、病棟勤務の看護師は夜勤がありますので、子育てと両立していくのが難しいという声をよくお聞きします。それに対して、保育所の看護師は子育てをしながら勤務をすることができるとおっしゃっていただき、耕心会では現在2名の看護師が勤務しています。

1名は循環器系の勤務経験がある方。もう1名は保育士経験とGCU（新生児病棟）での勤務経験があります。GCUでは、配慮が必要なお子さんと接する経験も積んでおられます。西山田保育園に配置する看護師の採用も進めていきたいと思っています。

耕心会では看護師同士での情報共有を行い、各園ごとではなく3園全体でのお子さんに対する保育について、しっかり対応していきたいと考えています。

保護者： 保護者会の継続については、保護者が主体となって決めていくことと思っています。ただ、保護者会をどうするのか考える際に、様々な資料を引継いでいくことを耕心会に許可してほしいと思っています。

保護者会活動は大変です。5歳児クラスは冬まつりで保護者が劇をしますので、面倒だという意見も出ます。私たちも頑張っていこうと伝えますが、保育士の先生からも温かく応援してもらっています。

他市では民営化して保護者会がなくなるということも聞きますが、少なくとも三者懇談会を開催している間は必要だと思っています。

耕心会： 民営化にあたっては、西山田保育園の保育を引き継ぐことが大前提です。例えば、西山田保育園の夏まつりは保護者会が共催であるとお伺いしています。そうであれば、保護者会が共催する夏まつりは、西山田保育園の保育の一つですので、そのまま引き継がさせていただきます。

また、西山田保育園の園児のためにも、保護者会の設立経緯や歴史については

勉強しないといけないと思っています。ただ、このような話もあると思います。夏まつりの時に模擬店の当番になってしまったため、ずっとお店にいなければならない。結局、その日はお子さんと一緒にお祭りを楽しむことができなかった。

保護者の方にも様々な御意見がありますので、保護者会の関わり方はお話し合いの中で決まっていくことと考えています。来年度から西山田保育園で合同保育が始まります。保護者会の皆さんが集まる実行委員会にも参加させていただいて、お話をお伺いしていきたいと思っています。

保護者： まず、アレルギー児の給食対応の件をお聞きします。給食時には別の席にしているとのことですが、アレルギー食材がある時だけ別の席にしているのか、毎回なのか教えてください。

次に、要配慮保育の件です。現在の西山田保育園では小集団保育を毎日行っていると聞いています。移管後はどのようにされるのか教えてください。

最後に保育士の経験年数についてです。3年以上の保育士を50%パーセント以上配置すると書かれていますが、実際に保育所を運営していく上でどのような職員構成が望ましいのでしょうか。西山田保育園の状況もよく知らないですし、そもそも保育士の仕事についてよく分からないので教えてください。

西山田保育園長： 西山田保育園では、アレルギーが解除されるまでは、アレルギー食材の有無に関わらず、毎回別のテーブルにしています。

耕心会： アレルギーの対応から御説明いたします。吹田くすのきこども園では、1歳児などの年齢が低いクラスであれば、完全に別のテーブルにしますが、4・5歳児くらいになるとアレルギーが大分解除されてきたり、程度も軽くなってきます。そのような場合でアレルギー食材がないときには一緒に食べる時もあります。

いつも一人だけ違うテーブルではなく、可能であれば他の園児たちと一緒に給食を食べてほしいと思っています。何歳児からと明確に決めているわけではなく、毎月のアレルギー会議の中でアレルギーの程度も踏まえて個別に対応しています。

小集団保育については、先に移管を受ける藤白台保育園の引継ぎの中でお聞きしています。西山田保育園では、藤白台保育園との違いを意識しながら、実際に保育を見させてもらいたいと考えています。

公立では勤続年数が30年以上という保育士も多いですが、全国の保育士全体の

平均勤続年数は7～8年といわれています。私たちは経験年数3年以上の保育士を50%以上確保することで、現状の保育を引継いでいくことができると考えています。その中でも、職員構成については年齢構成のバランスを意識し、保育以外の業界から転職した人材も配置したいと思います。そうすることで、園児たちも様々な背景を持つ多様な人材と接することができて、人間環境の力が育っていきと考えています。

幼稚園と違って、保育所は時間が長いので1つのクラスを複数の保育士が担当することが多いです。職員配置を考える際には、経験の浅い保育士を経験のある保育士と同じクラスにして、バックアップしながら育てていくようにしています。

これまで保育士全体の処遇はあまり良いとは言えなかったのですが、最近は処遇改善が進んできています。保育士が研修に行きやすい体制作りも進んでいます。一定の研修を受けながら保育経験を積んでいくと、新たな役職に就くことも可能になりました。このような背景の中で、勤務年数がそれほど長くなくても保育に関する知識や技術を習得できる機会は増えています。耕心会としてもできるだけ長く働いてもらうように努力をしているところです。

保護者： 職員に長く働いてもらうために、耕心会や市は具体的にどのような努力をされていますか。また、子育てをしながら働いている保育士がどれくらいいるのかも教えてください。

吹田市： 保育所を運営するためには、各歳児ごとに保育士の配置基準が決まっており、必要となる保育士の人件費等を、保育所の運営費としてお支払いすることになっています。また、その他に配慮が必要なお子さんを預かった場合などは金額が加算される仕組みになっています。

それに加えて吹田市では、研修に参加したり、担任の保育士がお休みした時の場合に備えて、2人分のフリー保育士を配置することができる助成金の制度を設けています。

耕心会： 保育士が研修に参加したり、体調不良でお休みをする時には、吹田市からお話があったフリー保育士を活用して対応しています。

吹田くすのきこども園の状況を申し上げますと、30名の職員のうち1名が育休中で、8名が子育てをしながら働いています。それぞれの職員と相談を行い、出

勤時間の調整や時短勤務を使ってもらい、耕心会としても働き続けてもらうように努力しています。

保護者： 多様な保育士と接することも大切だとは思いますが、保護者にとって一番大切なことは、子供を安心して預けられることだと思います。西山田保育園を引き継ぐにあたっては、安心して子供を預けることができる園運営を最優先に考えてもらうようお願いいたします。

耕心会： 承知いたしました。

保護者： 保育料以外の経費については、私立園はどこも高いと思っています。同じ保育所なのに、入ってからの費用負担や待遇が違うのは気になります。

吹田市： 一例をあげると、公立は建物が古くてなかなか新しくならないですが、私立は建替えを積極的に行います。運営費の使い方の違いがあると思います。その他にも様々な違いがありますので、入園を考える際に、公私立に関わらず各園を見学していただき、ある程度納得してから申し込んでいただく必要があると思います。

民営化する園で申し上げますと、費用負担を含めて変更したい内容については、三者懇談会の場で協議させていただき、納得してもらった上で取り入れていくお約束になっています。

耕心会： 吹田くすのき子ども園は、できるだけ保護者の負担を少なくしようという趣旨で設立した経過があります。設立時には、他の園から転園された方もいましたので、現在お持ちの保育用品のままで対応させてもらいました。

現在の費用負担を確認していく中で、給食費用については大分値段の幅があると認識しています。ただ、法人としても努力を行い、同じ価格で引継ぐことができるように進めていますので、御理解をいただければと思います。

保護者： これまでのお話を聞いていると、合同保育の職員が3名決まっているだけで、それ以外はまだ募集中ですし、パート・アルバイトの保育士がどれだけ残ってくれるかもまだ分からないので、あまりイメージが湧かないです。早く職員体制が判明して、移管後のメンバーを紹介してもらえればイメージしやすいです。

職員採用を行うのは耕心会ですが、民営化を行う際には市の責任で今の保育水準を引き下げないとか、できるだけ現在の職員体制を引き継ぐということで進めています。また、移管するまでは市に責任があるので、しっかりと責任を果たしてもらいたいと思います。

吹田市： これからどうなっていくのかという保護者の方の不安が伝わってきました。雇用関係については法人にお願いすることになりますが、この4月から民営化した南保育園では、法人の努力もあって多くのパート・アルバイト職員に残っていただきました。その結果、南保育園では多くの顔を知った先生に、移管後も毎日接することができて、保護者や園児にとって一つの安心材料であったと思います。

吹田保育園と藤白台保育園では、来年度の移管に向けて面接を進めています。この2園は、今年度末に最終的な報告をさせていただくことになりますが、できるだけたくさんの方に残っていただけるように、市としても誠意あるお願いをしていきたいと思っています。

また、民営化園の市の保育士たちも、しっかりと合同保育や引継ぎ保育を行うことで、しっかりと法人に引き継ぐことができるように頑張っているところです。

5 閉会

吹田市： 他に御意見・御質問がないようでしたら、本日は終了時刻を過ぎておりますので、これで三者懇談会を終了いたします。

次回の開催日時につきましては、耕心会や保護者会長と調整させていただきます。本日は御参加いただき、ありがとうございました。